

平成22年度 府立今宮高等学校 学校評価報告書

府立 今宮 高等学校  
校長 糀 秀章

1 めざす学校像

☆「今宮高等学校総合学科」の理念  
I 「どのような生徒を育てていくか」について  
自ら学び創造する喜びを持ち、本当の自分を見つけ、21世紀を主体的に生きていく自己を実現する。  
II 「そのような生徒を育てるために学校はどうあるべきか」について  
1. 生徒がしっかり考え、自分の考えを積極的に表現する授業を創造する  
2. 情報を提供する  
3. 様々な生徒活動を奨励する

2 本年度の教育目標

1 家庭学習の定着など自学自習の態度を一層図ることにより、自主的・主体的に学ぶ力を育成し、更なる学力の向上を図る。  
2 生徒相互の取り組みを尊重し、考える力・伝える力・まとめる力を育成する。  
3 将来の目標を設定し、自己実現の意欲を更に伸張させ、有意義に社会生活を送ることのできる力を育成する。  
4 生命と人権を尊重し、他者を思いやる心を育成し、安全で安心な教育環境を形成する。  
5 研究授業などを積極的に推進すると同時に生徒による授業評価活動を全員で行うことにより教職員個々の授業の更なる向上を図り、学校全体の教育力を高める。  
6 教育目標や種々の研修会などの情報の共有化を図り、総合学科高校としての魅力ある教育活動を推進する。

3 本年度の取組計画及び自己評価

Table with 4 columns: 領域 (Area), 具体的な取組計画 [平成22年4月 記入] (Specific Action Plan), 取組状況の自己評価 (Self-evaluation of Action Status), 今後 進めたい取組み (Future Action Plans). Rows include 学習指導等 (Learning Guidance), 生徒指導等 (Student Guidance), 学校運営等 (School Operation), and 追加項目 (Additional Items).

4 学校教育自己診断における結果と分析

[平成23年 1月 実施分]  
\*実施対象 (教職員・児童・生徒・保護者・その他)  
生徒 毎年、卒業時にアンケートを行っている。「総合学科で学んで良かった」肯定的回答が、90%以上  
保護者 毎年、卒業時にアンケートを行っている。「子どもが今宮高校で学んで良かった」肯定的回答が、90%以上  
☆ 生徒・保護者とも、学校に対する満足度は非常に高い。

5 学校協議会における提言内容

\*実施日 第1回(6月12日) 第2回(11月13日)  
\*委員構成 升田文郎(大阪市立日本橋中学校校長) 山本英夫(戎橋筋商店街振興会、活性化事業統括部長) 橋本幸司(ECC予備校布施校)、三村恵造(同窓会会長) 伊佐木順子(今宮高校PTA)、藤井真弓(今宮高校PTA)  
\*内容  
第1回 様々な取り組みをされていると思う。指導計画をさらに煮詰めて、満足した進路結果が得られるようにして欲しい。  
第2回 年々生徒の様子がよくなってきている。改革がさらに高いレベルの学校になっていくことを期待する。  
志学の取組は商店街でも行っている様々な取り組みと通じる所があり、学校の「志学」授業で人材派遣に協力する用意はできる。